



# 健康社会学研究会

## ニューズレター No. 72

発行：健康社会学研究会

事務局：〒164-8530 東京都中野区中野 4-21-2 帝京平成大学 現代ライフ学部 人間文化学科（担当 森川洋）

FAX 03-5860-4945 E-mail : h.morikawa@thu.ac.jp

ニューズレター NO. 72 / 2014 年 7 月 編集担当：助友裕子

### 9 月 月例会のご案内

日時：平成 26 年 9 月 19 日（金）19:00-21:00

場所：たまも塾（東京都練馬区桜台 4 丁目 22-7）西武池袋線練馬駅より徒歩 5 分

参加費：会員/無料 非会員/1,000 円

【テーマ】「知的障害者の健康のありかたを考える  
—苦労を分かち合うやり取り—

【報告者】西藺洋氏（たまも塾代表）  
林二士氏（NPO 法人ダンデライオン理事長）

【概要】知的障害者の苦労を理解し、乗り越える  
ための実践について報告します。



### 平成 26 年度総会の報告

去る 6 月 28 日（土）、第 50 回健康社会学セミナー終了後に「平成 26 年度総会」を開催しました。議長に渡邊会員を選出し、議案書に基づき下記 4 議案について審議いただき、全ての議案について原案どおり承認いただきましたので、ご報告いたします。

進行：臺副代表

第 1 号議案：平成 25 年度事業報告（説明：助友委員）

第 2 号議案：平成 25 年度決算報告（説明：森川委員）

第 3 号議案：平成 26 年度事業計画案（説明：松岡代表）

第 4 号議案：平成 26 年度予算案（説明：森川委員）

また、運営委員の任期満了に伴う改選について、森川委員より新運営委員及び新代表の紹介を行いました。

健康社会学研究会 代表 松岡正純



議長：渡邊会員



新運営委員紹介

## 新役員・運営委員のご紹介

この度の役員改選により、新たな役員・運営委員に下記13名が選出されました。今号では、役員・運営委員からひとりひとりと必ずつ会員の皆さまにメッセージをいただきましたので、ご紹介させていただきます。

### 代表



名前：松岡 正純（まつおか まさずみ）

所属：白井市教育委員会

専門分野：健康なまちづくり（市民参加・協働、計画づくり、  
講座の企画・運営）

これからの健康な社会づくりは、分野や職種を超えてつながり、互いの専門性をいかしあいながら共に取り組む、新たな協働スタイルが求められます。当会は、研究から実践にわたり多職種・多分野の人々が集うアットホームな会で、他の会（同じ分野や職種の集まり）では得られないネットワークの広さが魅力です。みんなで集い一緒にネットワークを広げていきましょう！

### 副代表



名前：杉田 秀二郎（すぎた しゅうじろう）

所属：文化学園大学現代文化学部応用健康心理学科

専門分野：健康心理学

再び運営委員に選ばれ、引き続き副代表を務めさせていただくこととなりました。分野やアプローチ方法は違ったとしても「健康と幸福」の実現、そして「健康社会」の実現のために、研究会として努力していきたいと思えます。

### 副代表



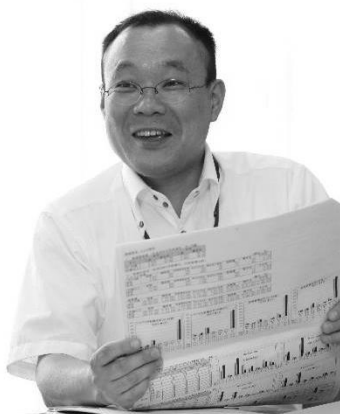
名前：臺 有桂（だい ゆか）

所属：横浜市立大学

専門分野：地域看護・保健、親子保健

さまざま異なる背景を持つ研究会のメンバーですがヘルスプロモーションへの熱き思いは同じ。お互いにエンパワメントし合い、日々豊かな活動をしていきましょう！

## 運営委員



名前：池田 康幸（いけだ やすゆき）  
所属：埼玉県三芳町健康増進課  
専門分野：公衆栄養

運営委員 2 期目になりました。多種多様な職種、経歴、年齢で構成される健康社会学研究会の仲間に、まず私が伝えられることは何かを考えたいと思います。そして、この今期の目標に根気をもって期待??にこたえられるような取り組みを・・・がんばります。ご協力お願いします。



名前：小山 修（おやま おさむ）  
所属：無職（研究所客員研究員、淑徳大学と関東学院大学非常勤講師）  
専門分野：大学では、保育内容「健康」と「子どもの保健Ⅱ」を担当。JICA 青年海外協力隊派遣前研修では「住民参加論」、国立武蔵野学院では「現任研修論」、研究所主催の専門里親研修では「養育里親論」を担当している。一貫性がなく「何でも来い」という感じ。私以外の運営委員は、最も油の乗っている「中堅」である。大いに個性、特色を出し、社会学的に健康に切り込み、新天地を開くことを期待したい。個人と集団、個人と制度、政策を含む環境との相互関係のあり方と方向付けである。



名前：齊藤 恭平（さいとう きょうへい）  
所属：東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科  
同大学院福祉社会デザイン研究科ヒューマンデザイン専攻  
専門分野：健康社会学、ヘルスプロモーション

大学 4 年生の時に、この研究会の前身である保健社会学研究会に入会しました。以来 30 年以上を経過しようとしています。この研究会のイズムを継承しつつ、そろそろ後継の育成を考えるべく年齢かなと考えております。



名前：齊藤 進（さいとうすすむ）  
所属：日本子ども家庭総合研究所 客員研究員  
大正大学 非常勤講師  
専門分野：健康社会学（地域組織活動、子育てネットワーク、子育て支援）

現在、ハローワーカーです。地域の住民活動を生涯学習の視点から、また対象を子育て支援から高齢者支援まで広げ考えていきたいと考えています。



氏名：下園 美保子（しもぞの みほこ）

所属：帝京大学医療技術学部看護学科（地域・公衆衛生看護学領域）保健師  
専門分野：プログラム評価、地域診断、健康増進計画評価及び策定

今年度より役員を拝命しました。奈良で保健師として勤務後、現職に着任しました。現在は主にプログラム評価を研究し、大学では疫学を担当、市町村では健康増進計画の評価をサポートしています。どうぞよろしくお願い致します。



氏名：白子 純子（しらこ じゅんこ）

所属：青山学院女子短期大学 非常勤講師 助産師  
専門分野：小児保育関連、性の健康教育

運営委員会としてみなさまからご支持いただき光栄です。若手と言われていた運営委員会メンバーもすっかり年齢を重ね、若手ではなくなりつつありますが、(笑)今後も様々な視点からの研究成果をご報告いただける場を提供したいと思います。微力ながら引き続きよろしくお願い致します。



名前：助友 裕子（すけとも ひろこ）

所属：日本女子体育大学  
専門分野：公衆衛生学、保健科教育学、ヘルスプロモーション

「健康はどこでつくられているのか。」人々の生活概念は、健康づくりだけでなくいつか向き合う病や死という当たり前の現実とともに形成されていきます。多様な生活の場から集った会員の皆さまとともにこの問いについて考えて参りたいと思います。



名前：高澤 みどり（たかざわ みどり）

所属：市原市役所 保健福祉部 保健センター  
専門分野：地域歯科保健（歯科衛生士）

多職種が集うこの研究会から、本当にたくさんのことを学び、ちよつとずつ地域に還元できているかな？と思う今日この頃です。運営委員2期目となりますが、会の発展に少しでも貢献できるよう頑張りたいと思います。



名前：森川 洋（もりかわ ひろし）  
所属：帝京平成大学現代ライフ学部  
専門分野：健康社会学、ヘルスプロモーション、職業リハビリテーション

引き続き事務局を担当いたします。日頃より会員の皆様には、様々な形での  
ご支援頂き感謝しております。これからも研究会を少しでも活性化させ続け  
たいと思います。月例会、セミナー等々、ぜひご参加ください。



名前：渡辺 多恵子（わたなべ たえこ）  
所属：日本保健医療大学 保健医療学部  
専門分野：公衆衛生看護学

「地域コホートデータを用いた妊娠期から思春期までの保健福祉ケアシ  
ステムの確立」をテーマに研究に取り組んでいます。メンバーみんなの研究や  
実践が融合して、よりよい社会の構築に貢献できるというスケール  
の大きな夢を持っています。

## 第50回 健康社会学セミナー報告

### 健康に関する住民活動は地区組織から新たなる住民組織へ

#### 第1部 シンポジウム

「品川区 健康大学しながわについて」 奥村 穂並（品川区保健センター）

「市原市 歯科保健推進員活動について」 高澤みどり（市原市保健センター）

「白井市 白井市民大学校について」 松岡 正純（白井市生涯学習課）

#### 第2部 問題提起とフロアディスカッション

【モデレーター】 齊藤恭平（東洋大学ライフデザイン学部教授）



平成26年6月29日（土）午後、東洋大学朝霞キャンパス306教室で第50回健康社会学セミナーが  
開催されました。第50回という節目を迎え、これまで長い間、会場にしてきた日本子ども家庭総合研究



所（母子愛育会）を離れ、研究会としても月例会やセミナーの新たな展開  
方法としてのスタートとなりました。今回は「健康に関する住民活動は地  
区組織から新たなる住民組織へ」をテーマに、3名のシンポジストからの  
話題提供と、その後のフロアとの意見交換が行われました。



品川区 左：中島氏（管理栄養士）、  
右：奥村氏（保健師）

最初のシンポジストの奥村瑞穂さんと中島圭子さんからは、行政の中の保健セクションが中心となった品川区の健康大学の取り組みに関する話題提供がされました。また、二番目の高澤みどりさんからは、保健セクションを break out した歯科保健組織の形成プロセスと活動内容が発表されました。それぞれ保健セクションが中心となった活動の特徴や問題点が明らかにされた中で、最後の松岡正純さんからは教育委員会の生涯学習セクションが中心となった白井市の健康大学の取り組みが発表されました。

話題提供後には参加者から様々な感想や意見、質問が寄せられていました。時間の関係で十分な議論というところまではいきませんでした。シンポジストからも行政職員としての本音も聞けるなど、それぞれのシンポジストにとってもフロアの参加者にとっても、ヘルスプロモーションにおけるインターセクトラルアクションの必要性を感じさせるセミナーとな



白井市 松岡氏

ったと思われます。



市原市 高澤氏（歯科衛生士）

セミナー後の懇親会では、セミナー本番よりも一層盛り上がった意見交換があったようです。時間の経過も忘れて、3時間もの懇親の場となりました。



（文責 齋藤恭平 健康社会学研究会運営委員）

## 出版企画委員会より

現在は原稿がほぼ揃い、出版企画委員による原稿の確認をさせていただいているところです。出版企画委員は各原稿に対して「第三者からのコメント」も書かせていただきますので、執筆者の方々にはどうぞご協力をお願いいたします。

出版企画委員会 委員長 杉田秀二郎

## 新入会員のご紹介

以下の3名がご入会されました。（敬称略）

谷口育（三芳町保健センター）

長優子（江戸川区健康部健康サービス課）

島田有希子（日本福祉教育専門学校）

今後ともどうぞよろしくお願いたします。

今号では、事務局からの連絡はありません。